

人と地域と医療をつなぐかけはしに

Kumamoto Kinoh Hospital

熊本機能病院 地域連携室 キノウトアシタ

Kinoh To Ashita

ご挨拶

院長就任のご挨拶 ～熊本機能病院にかける思い～



日本整形科学会認定医
日本形成外科学会認定医
九州支部評議員
日本手外科学会代議員・専門医
日本マイクロサージャリー学会
理事・評議員
リハビリテーション認定臨床医

4月1日より熊本機能病院院長に就任いたしました。当院は昭和56年5月に熊本市山室にて米満弘之先生、中根惟武先生、高橋修一朗先生、そして私の4名の医師で開院いたしました。私は昭和55年11月より広島大学の津下教授、生田講師の下で3ヶ月間「手の外科」、昭和56年2月より金沢大学の野村教授、吉村講師の下で3ヶ月間「組織移植」「マイクロサージャリー」の研修を受けました。開院と同時に手術を始め、当時は切断再接着、開放骨折等が多かった記憶があります。最近では「四肢外傷センター」として救急、また人工関節、形成外科は口唇口蓋裂も多いです。年間の手術症例数は約3,500症例です。循環器内科は心臓カテーテルの症例も多く、狭心症の研究も盛んです。神経内科は回復期リハビリ、また電気生理部門では研究にも力を注いでいます。

早いもので熊本に来て49年になります。熊本は第二の故郷になります。多くの諸先輩にご指導いただき、職員にも支えられ、多くのものを学ばせていただきました。医療を取り巻く状況は激しさを増しております。このような環境の中で、経営基盤の安定を図り、安全な高度医療を追求、教育と研究の発展を実現させる必要があります。また地域の急性期病院、地域支援病院として役割を果たすために、病診連携を強化する必要があると思われれます。平成27年10月完成予定の新病棟のためにも、病院の更なる発展を目指して、努力していく所存です。今後とも変わらぬご支援の程、宜しく願いいたします。

院長 中島 英親

新任医師紹介



日本整形科学会専門医

整形外科の橋本哲と申します。今年4月より勤務しております。昨年度までは福岡や佐賀にて勤務してきました。整形外科の疾患では疼痛や変形により動きが制限されたり、意欲が落ちてしまうこともあり生活の質に関わるような分野であります。熊本という“人生初の土地”ですが、地域の方々が楽しく心身に健康で過ごせるように、手助けが出来ればと考えています。若輩者ではございますが、何卒よろしくお願いたします。

平成19年卒 整形外科 橋本 哲（はしもと あきら）



日本神経学会専門医
日本内科学会認定医

神経内科の奥村幸祐と申します。平成19年に熊本大学を卒業し、熊本大学医学部附属病院と人吉総合病院で初期研修を行い、脳血管障害に興味を持ちました。これまで、熊本赤十字病院や国立循環器病研究センターなどで急性期脳卒中の診療に多く携わってきました。回復期リハビリテーション中心の診療は、経験が浅く慣れない部分も多くご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、日々研鑽していく所存ですので、宜しく願いいたします。

平成19年卒 神経内科 奥村 幸祐（おくむら こうすけ）



日本神経学会専門医
日本内科学会認定医
日本臨床神経生理学会認定医

神経内科の宮本詩子と申します。平成15年に産業医科大学神経内科に入局し、途中2年間、専属産業医を経験した以外、大学病院で主に神経疾患の電気生理学的診断を行ってきました。かねてから出身地である熊本に戻りたいと思っており、4月から勤務することになりました。これまでの経験を活かし、また新たな教えを受けながら、地域に貢献できたらと考えています。どうぞ宜しく願いいたします。

平成15年卒 神経内科 宮本 詩子（みやもと うたこ）



日本医学放射線学会専門医

放射線科の石塚恵未と申します。今までは総合病院で内科・外科・小児科・新生児科・産婦人科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科と幅広い分野のMRI診断業務に携わってきました。熊本市北区は私の地元でもあり、当院は小さいころから馴染みある病院です。この病院でこうして地域医療に貢献できることを嬉しく思います。地域の皆様に頼られる医師を目指して頑張ります。何卒宜しく願いいたします。

平成15年卒 放射線科 石塚 恵未（いしづか えみ）

整形外科(下肢)



日本整形外科学会
日本股関節外科学会
西日本整形・災害外科学会

整形外科下肢疾患を中心に診療しております。

人工膝関節全置換術、人工股関節全置換術に関しては、術後の患者満足度を少しでも高めるため、手術手技の改善、術後疼痛対策や深部静脈血栓症対策などに力を入れています。

前十字靭帯再建術は約5年前より二重束再建術を導入し良好な術後成績を残しています。今後はさらに手術の精度を上げ、成績を安定させていきたいと考えております。今後とも何卒宜しくお願いいたします。

整形外科部長 清田 克彦

整形下肢	件数
膝関節鏡視下手術(半月板部分切除 含)	268
人工膝関節置換術(再置換術 含)	213
人工股関節置換術(再置換術 含)	173
骨接合術(大腿骨転子部・大腿骨頸部)	142
人工骨頭置換術(大腿骨頸部骨折)	60
その他	570
合計	1,426

(平成25年度 実績)

整形外科で下肢を担当しております。

平成25年度の整形外科手術件数は約2,800件でした。下肢手術の主なものでは、人工膝関節置換術(再置換術含)213例、人工股関節置換術(再置換術含む)173例、前十字靭帯再建術52例、膝関節鏡視下手術268例、寛骨臼回転骨切り術5例、脛骨高位骨切り術5例などでした。

地域の先生方とより緊密な連携を図ることで、患者さんに貢献できるよう、誠心誠意尽力して参りたいと存じます。今後とも、より一層のご指導とご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

整形外科部長 高橋 知幹



日本整形外科学会専門医

看護研究

機能的口腔ケアの技術向上を目指して ~患者の口腔機能改善へ繋げるために~

岩瀬仁美 古澤薫乃 月足亜佐美 宮本美奈子 原田昌子 上田純子 古川由美子

背景

口腔衛生状態の不良は、誤嚥性肺炎の発生、口腔内の機能低下の要因になる。また早期経口摂取を見据えた口腔ケアは、摂食・嚥下リハビリテーションを行う上で欠かせないケアである。

今回、口腔内清掃を中心とした器質的口腔ケアから口腔機能の回復・維持向上のための機能的口腔ケアを含め研修会を実施し、知識技術の向上を図った。

研究方法

対象：A病棟看護・介護スタッフ32名

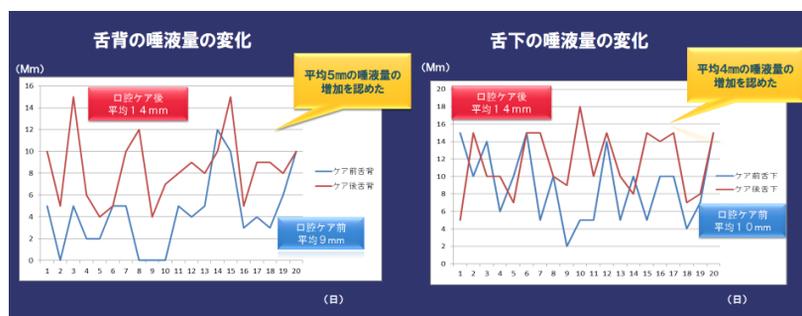
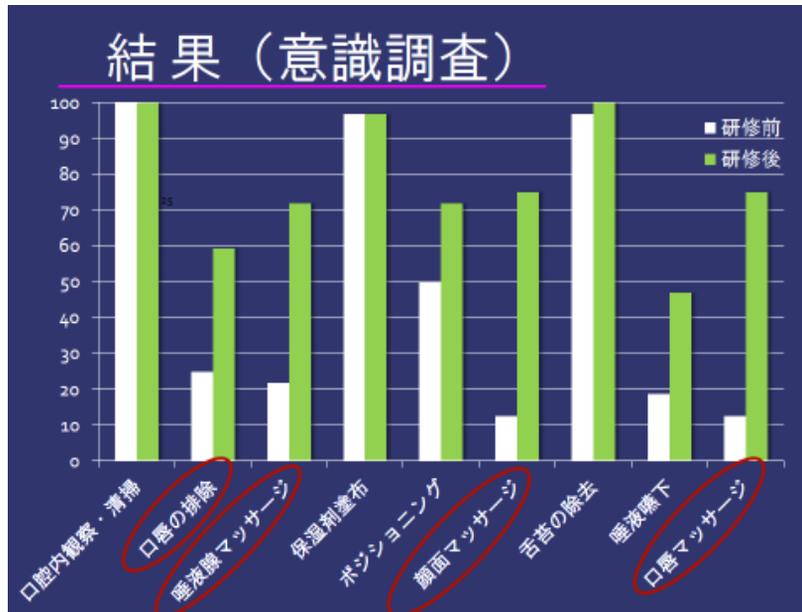
嚥下障害を認める5症例

方法：研修会の実施・スタッフへの意識調査
症例に対し唾液分泌量測定・口腔内観察
舌の運動評価

まとめ

研修会によりスタッフの機能的口腔ケアへの関心が高まりスムーズに日々のケアを導入することができた。特に研修後に上昇した口腔ケアは、「顔面マッサージ」「口唇マッサージ」「唾液腺マッサージ」「口唇の排除」であった。

機能的口腔ケアとして、口唇や頬を刺激することが脳への刺激となり、意識レベルの改善に繋がった。また、それにより早期経口摂取へ移行することも可能となる。患者のQOL維持向上のために、対象者にあったケアが提供できるよう、知識・技術向上への教育指導を今後も継続していく。

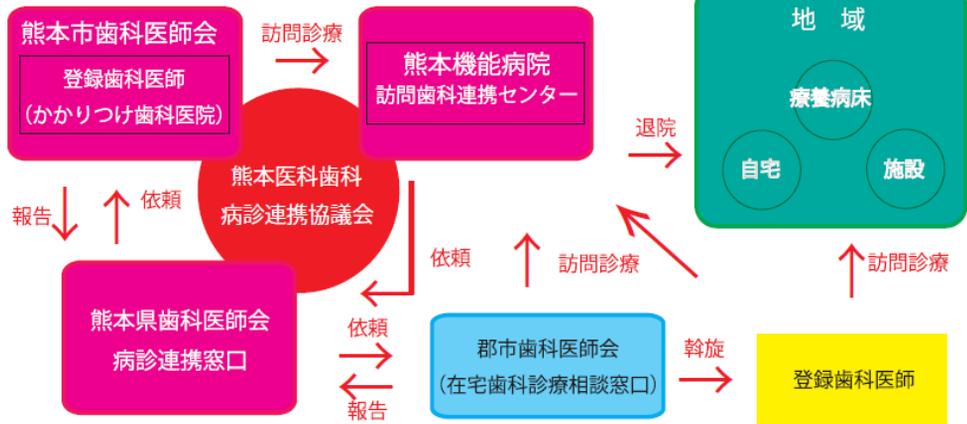


ご報告

平成26年4月1日より 熊本医科歯科病診連携がスタートします



熊本県では現在、ガン拠点病院と熊本県歯科医師会とが連携し周術期における口腔機能の管理等、チーム医療の推進に取り組んでいます。



しかし周術期のみならず、高齢者で脳卒中などを発症し在宅で医療・介護を受ける人が歯科疾患を発症するケースは多く、在宅歯科医療の必要性が増してきています。入院患者が、様々な歯科領域に関する問題を抱えている場合も多く、近隣の歯科医院に訪問歯科診療を依頼し対応しているケースもあるがそのまま放置されているケースもあります。

また、訪問する時間帯の問題や歯科医師により対応が統一されていないなど問題点は多くあり、患者が退院した後も、かかりつけ歯科医が地域で治療やケアを継続できる体制づくりも必要になってきています。

そこで、その目的のために、まずは熊本機能病院と熊本県歯科医師会及び熊本市歯科医師会が医科歯科病診連携システムを整え、連携を行っていきます。

この連携は将来的に熊本県全域での医科歯科病診連携に広がるよう、モデル事業的な役割も担っており、口腔疾患と多くの全身的な病気には深い関係があり、医科と歯科が連携して診療する事で肺炎などの感染症を予防し患者の全身状態にも好影響を及ぼすと考えられています。今後、このシステムが1つのモデルとなって広がっていく事を願っています。

今後とも宜しくお願い致します。

訪問歯科連携センター 古川 由美子 (歯科衛生士)

平成26年5月1日より地域包括ケア病棟 (39床) を開設します

地域包括ケア病棟は

「①急性期後の受入 ②在宅復帰支援 ③在宅患者などの救急対応」

この3つの在宅支援病棟としての役割・機能を担います。

在宅からの緊急入院、急性期病院からの転院入院に関して、当院での治療期間のご報告など、責任持ってフォローいたします。

また、先生方からのご意見、ご質問等お伺いいたします。些細なことでも構いません、当院までご連絡ください。

電話番号：096-345-8111 (代表)



MRI・CTの予約に関して

1.インターネット予約

富士フィルムC@RNAログインページへ

(ご利用登録は無料です。

ご利用希望の際は当院画像診断センターへご連絡ください。)

2.電話予約

電話番号 096-345-8111 (代表)

月曜日～金曜日 8時30分～17時00分

土曜日 8時30分～11時00分

代表電話となりますので、医療機関名と

「画像診断検査予約」の旨をお伝えください。

専門医が読影レポートを作成、ご報告いたします

検査予約等 当院へご相談ください



64列マルチスライスCT Aquilion64 東芝



Achieval1.5T Philips



3D画像作成ワークステーション 骨密度測定装置



地域の皆様から信頼していただける画像診断センターを目指しています。

画像診断センター長 中山 善晴

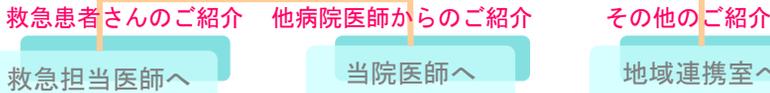
インフォメーション

ご紹介方法 まずは代表電話へお電話ください



熊本機能病院
096-345-8111 (代表)

救急センターは24時間対応
整形外科医・内科医が常駐しています



救急担当医師へ 当院医師へ 地域連携室へ
電話交換へお伝えください。それぞれの部署へお繋ぎします。 * 詳しくはホームページをご参照ください

外来診察担当表

曜日	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	
診療科	中島 英親 高橋 修一朗 星野 秀士 重本 弘文 高橋 知幹	中島 英親 田口 学 清田 克彦	米満 弘之 中根 惟武 寺本 憲市郎 上園 圭司	中根 惟武 寺本 憲市郎 林田 洋一 上園 圭司	高橋 修一朗 久保田 晃志 田口 学 高橋 知幹	高橋 修一朗 (スポーツ特再会) 重本 弘文 星野 秀士 久保田 晃志	中島 英親 寺本 憲市郎 清田 克彦	中島 英親 (スポーツ特再会) 寺本 憲市郎 清田 克彦	米満 弘之 中根 惟武 田口 学 星野 秀士	久保田 晃志 高橋 知幹 林田 洋一	米満 弘之	
整形外科	各週で担当が異なります 外来受付までお問い合わせください											
救急総合外来	米満 弘一郎	米満 弘一郎	米満 弘一郎	米満 弘一郎	米満 弘一郎	米満 弘一郎	米満 弘一郎	米満 弘一郎	米満 弘一郎	米満 弘一郎	米満 弘一郎	
形成外科	小園 喜久夫	新傷ケア※	田邊 毅					田邊 毅	田邊 毅	小園 喜久夫	小園 喜久夫	第1・3・5週 小園 喜久夫 第2・4週 田邊 毅
小児形成外科												
内科	山永 裕明 (神経内科・リハ科) 中西 亮二 (神経内科・リハ科) 時里 香 (神経内科・リハ科) 奥村 幸祐 (神経内科・リハ科)	内科担当医	渡邊 進 (神経内科・リハ科) 竹迫 雅弘 (糖尿病・内科) 江口 謙八郎 (頭痛外来※) 徳永 誠 (神経内科・リハ科) 宮本 詩子 (神経内科)	竹迫 雅弘 (糖尿病・内科) 内科担当医 味覚外来※	中西 亮二 (神経内科・リハ科) 江口 謙八郎 (脳神経外科※) 桂 賢一 (神経内科・リハ科) 時里 香 (神経内科・リハ科)	内科担当医 山田 和慶 (機能神経外科※) 桂 賢一 (神経内科・リハ科)	山永 裕明 (神経内科・リハ科) 江口 謙八郎 (脳神経外科※) 渡邊 進 (神経内科・リハ科) 桂 賢一 (神経内科・リハ科)	内科担当医 味覚外来※	徳永 誠 (神経内科・リハ科) 奥村 幸祐 (神経内科・リハ科) 宮本 詩子 (神経内科)	内科担当医	江口 謙八郎 (脳神経外科※)	各週で担当が異なります 外来受付までお問い合わせください
循環器内科	水野 雄二	[13時-16時] 庄野 信		[13時-15時] 水野 雄二 原田 栄作 禁煙外来※	泰江 弘文 原田 栄作	[13時-16時] 庄野 信		[13時-15時] 水野 雄二	原田 栄作 山口 尊則 (毎月4回目)	[13時-16時] 庄野 信		各週で担当が異なります 外来受付までお問い合わせください
リウマチ科	工藤 博徳		工藤 博徳				工藤 博徳		工藤 博徳			
血管外来			中島 昌道				中島 昌道					

医療法人寿量会 熊本機能病院

〒860-8518 熊本市北区山室6丁目8番1号
TEL : 096-345-8111
FAX : 096-345-8188

休診日

日曜・祝日
年末年始 (12月29日午後~1月3日)
開設記念日 (4月1日)

ホームページ

熊本機能病院

検索